人材育成、県の制度活用を

埼玉県が県内中小企業を対象にした在職者向け技能講習に力を入れている。従業員がスキルアップを図れるよう多彩なメニューを用意。企業の要望に応じてカリキュラムや実施時期などを個別に決められる講習もある。一方、埼玉県立川口高等技術専門校と熊谷高等技術専門校が実施する「デュアルシステム」と呼ばれる職業訓練が「ミスマッチが少ない」「訓練生の意欲が高い」と協力企業から高く評価されている。

埼玉県の在職者向け技能講習を利用した県内中小企業からは「技能検定の合格者が増えた」「体系的に学べた」と成果を実感する声が聞こえる。

ディーゼルエンジンの部品を手がける川面製作所（熊谷市、川面康社長、048・524・6611）は技能検定の取得に向けて県の技能講習を利用し、この数年、毎年合格者を出している。旋盤2級の取得者は7人になった。川面社長は「旋盤はひととおり成果が上がったので次はフライスができる人も増やしたい。現場で加工に携わる正社員の9割以上が資格を取れるようにしていきたい」と話す。

在職者向け技能講習 技能検定などで成果

「技術的な分野は計画的、体系的に一から学んでいかないと。断片的に知っていても応用が利かない」（川面社長）と社外の専門家の力を借りる理由を説明する。川面社長は「われわれは、いまよりもいい仕事をしないといけないし、新しい仕事を取らないといけない。そのためには技術的な裏付けが必要になる。（県の技能講習は）なくてはならない制度」と強調する。

ダイカスト用金型部品を製造するキャステック（加須市、飯島雷治郎社長、0480・72・2035）も技能検定の取得で講習を利用し、成果を上げた。友坂猛取締役総務部長は「2級合格からさらに1級に挑戦する流れができた。（技能検定で）客観的に自分の力を知ることがインセンティブになる。誰でも少し上を求めたいと思っているから」と説明する。

スイス型NC旋盤の生産性向上の講習も役立ったという。自ら仮説を立て、それに基づいたデータを取り、製品の不具合の原因を追究する。「先生の言う通りにやっているうちに機械の本質がわかった」「ものごとのアプローチの仕方を初めて教えてもらえた」といった声が出た。「社内ではいまやっている以上のことは教えられない。外部から招くしかない」（友坂取締役総務部長）

プラスチック成形品を手がける新田工業（三郷市谷、新田健太郎社長、048・954・2221）も「自分で考え、動ける社員になってもらいたい」（新田社長）と講習を積極的に利用する。技能検定の射出成形1級の取得者が1人出て、周囲に刺激を与えているという。「先生がていねいに指導し、どんどん引っ張ってくれる。仕事についての知識が増え、理解が深まる。1人ができるようになると2人、3人と広がってくる。有意義な時間になるいい先生に出会ったから続いている」（新田社長）

仕事に前向きになり、リーダーのような存在になった若手も出てきた。「そういう人が何人も出ると、新しいことにチャレンジできるかなと思っている。進んで難しいことに取り組んだり、進んで改善する方向に向かってほしい」（新田社長）と手応えがあるようだ。

川面製作所はこの数年、技能検定の合格者を毎年出している

キャステックでは技能検定の2級合格からさらに1級に挑戦する流れができた

新田工業では仕事に前向きになり、リーダーのような存在になった若手も出てきた

鍛造用金型を製造する大野精密工業（春日部市、大野修平社長、048・737・2444）は技能講習の受講を機に社内で技能検定を受ける人が急増。2級を中心に毎年コンスタントに3人ぐらいの合格者を出している。1級の取得者も6人いて、うち2人は1級合格後5年以上の者が対象の特級を受ける資格がある。大野社長は「技能が高まり、従業員のモチベーションも上がった。これを継続していければ」と期待する。

「受かったことによって自分の技能に自信を持ち、さらなる向上心が芽生えている」と大崎友和総務部長はみる。要望にきめ細かく応えてもらえ、講師が会社まできてくれるのが県の技能講習の魅力という。社内に現在、機械加工や熱処理に関わる技能士が二十数人いるが「もっと資格を持つ人を増やしたい」（大崎総務部長）としている。

要望に個別対応 今年度は無料講習も

県が実施する在職者向け技能講習は現在、「メニュー型」「オーダーメイド型」「派遣型」の3種類がある。メニュー型は定めた日時に決まった会場で行う講習。これに対し、オーダーメイド型は企業の要望に応じてカリキュラムや実施時期を個別に決められる。派遣型はカリキュラムや実施時期に加え、講習の場所まで企業の要望に応じる。

団塊世代の定年退職や後継者不足が課題となった2006年度、県は他の都道府県に先がけて「技能の達人継承事業」を始めた。一定の資格や技能、能力を持つ「技能の達人」を県の職業能力開発センターの「埼玉県匠人財バンク」に登録し、要望に応じて技能の達人を企業に派遣、個別のカリキュラムで講習を行ってきた。13年度に名称を派遣型技能講習に変え、受講料を引き下げるなど一部を改定した。

一方、県は「彩の国オーダーメイド訓練」を96年度にスタート。00年に休止となったが、08年に現在のオーダーメイド型技能講習で再開した。中小企業のニーズに応えるにはメニュー型だけでは不十分との考えから多彩な講習を用意している。

14年度については県とポリテクセンター埼玉が連携し、12時間未満の講習を無料で実施する「オーダーメイド型技能講習」も別途、行っている。この無料講習では講師を企業に派遣することもできるという。

「デュアルシステム」は技術専門校での8カ月の訓練と企業での4カ月の実習を組み合わせた職業訓練で、04年に川口高等技術専門校で始まり、08年に熊谷高等技術専門校でも行うようになった。訓練生を受け入れる協力企業が川口校に156社、熊谷校に54社ある。熊谷校の鈴木豊訓練担当部長は「訓練生はその企業に就職する前提で実習する。実習を終えて、就職してからのミスマッチが少ない」とデュアルシステムの利点を話している。

デュアルシステム 企業から高い支持

デュアルシステムについては協力企業から高く評価する声が相次いでいる。

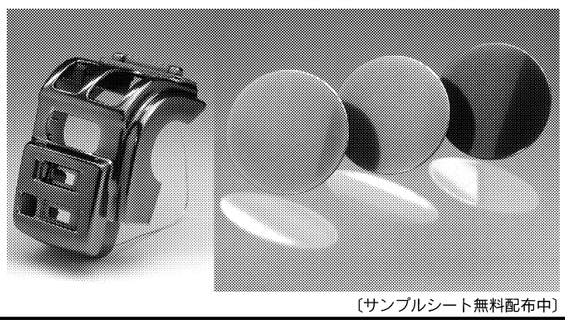
大野精密工業は「デュアルシステムが当社に合っている。採用方法としては一番いい」（大崎総務部長）と絶賛する。訓練生、企業ともに実習期間中に相手を見極めるため、ミスマッチが少ない利点があるが、それ以上に訓練生がある程度の基礎を身につけていることや、目的意識の高さを感じるという。実際、入社後に技能検定を受ける人が多い。同社ではすでに7人の入社実績がある。大野社長は「デュアルシステムで入った人は信頼が置ける。人材の質が高い」と強調する。

川面製作所は、高等技術専門校にデュアルシステムの実習生受け入れ申し込みを毎年行っている。川面社長も実習期間中、訓練生の仕事への取り組み姿勢などを見極められることを利点の一つに挙げる。「一番いいのは定着率の高さ。デュアルの訓練内容は実践的だし、もう一度勉強し直そうと意欲を持った人や『手に職を』と考えて専門校に入った人が多い。デュアルで8カ月以上訓練・実習を続けられる人は入社しても続く。専門校を出た人は違う」と川面社長は評価する。

キャステックも「本当に実践的な仕組み」（友坂取締役総務部長）と好意的だ。中途採用でハローワークを通じて入社するケースと比べ、定着率ははるかに高いという。友坂取締役総務部長は「（訓練生は）就職する気で仕事しているから安心できる。実習期間中に当社のことがよくわかるし、仕事もだんだん覚えて、就職するころには戦力になっている。就職後の成績優秀者も多い。もしも訓練期間が1年間ではなく、2年間あればさらにいいのに」と話している。

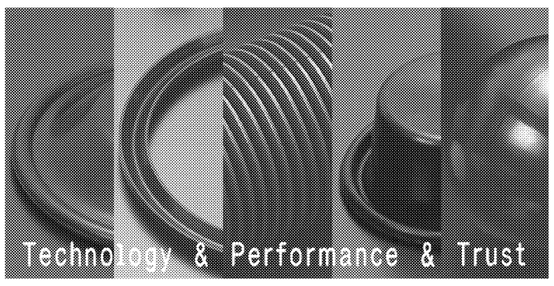
大野精密工業はデュアルシステムで7人の入社実績がある

株式会社 幸大ハイテック
URL：http://www.kodai-ht.co.jp
本　社　〒105-0004　東京都港区新橋4-21-3
羽生工場　〒348-0016　埼玉県羽生市大沼2-45
TEL（048）565-1511　FAX（048）565-1515
医療機器設計製造／電子機器設計製造（D-CELLでEMSを追求）
プリント基板実装では、完全RoHS分離エリアでの生産で安心を提供しています
EMS事業を追求した「魅せる生産工場」でお客様の生産を実現しています

高意匠塗装
SHINE COAT　金属調高輝度塗装

〔サンプルシート無料配布中〕
◇自動車部品
◇自動２輪部品
◇建築金物部品
◇弱電部品
◇医療機器部品 等
アルミダイカスト・亜鉛ダイカスト・マグネシウムダイカストの外観塗装・焼付塗装・2液ウレタン塗装
脱六価・三価クロム・ノンクロム処理対応
研磨・防錆処理・塗装の一貫体制！
株式会社 モチダ製作所
〒355-0303 埼玉県比企郡小川町大字奈良梨337-2
TEL：0493-74-0744　FAX：0493-74-2117
http://www.mochida-s.com/

㈱エムエフケイが開発した全く新しいコーティングシステム……是非、お試しください。
高耐食性・高耐磨耗性アルマイト皮膜
MFコート(S)（硫酸アルマイト）　MFコート(C)（蓚酸アルマイト）
広範囲な使用実績！
種類　MFコート(S)・MFコート(C)・MFコート(B)
特徴　薄膜10～15μでステンレス以上の高耐食性が得られます。また面粗さも切削加工時の粗さとほぼ変わりません。
■油圧・空圧シリンダー等
■機内用ホットプレート
■半導体製造装置部品
■面粗度が重要な精密部品
■耐電圧部品
■高耐食性・耐薬品性を必要とする部品
【営業品目】
＊アルミ部品の表面処理
＊ステンレス・特殊合金の電解研磨
＊金属表面処理の研究開発
＊その他　機能アルマイト
「MFコート」とは特殊な液組成中で特殊波形を用いた陽極酸化したアルマイト皮膜です。クラックや表面溶解等を極力抑えます。

◆その他金属表面処理に関する技術的問題等有りましたら当社にお問い合わせください。
ISO9001認証取得
株式会社エムエフケイ
〒351-1211　埼玉県日高市森戸新田1259-11
TEL 042-984-0333　FAX 042-985-9919
http://www.mfcoat.jp/
◎ネットワーク
メッキ、テフロンコーティング、ショットブラスト等協力企業との連携により柔軟に対応させて頂きます。

工業用ゴム製品の総合メーカー


●布入りVパッキン
●布入りゴム製品
●ダイヤフラム
●各種オイルシール
●フリーサイズダストシール
●耐圧用パッキン
●バルブ用ゴムボール
●各種水道用ゴム製品
●導電性ゴム製品
●絶縁性ゴム製品
●難燃性ゴム製品
●その他特殊配合ゴム成型品 樹脂成型品の設計製品
高機能材料から汎用材料までお客様のニーズにお応えします。
— 業務内容 —
工業用製品の委託研究・開発業務
新製品開発プロジェクトのマネージメント
ソフトウエアの開発及び販売
各種ゴム及び樹脂製品の設計及び製作
各種金属加工品・各種金属の設計及び製作
金属・基布・PTFEとの複合化を実現する高機能ゴム製品
株式会社丸一ゴム製作所
ISO9001:2008
本　社　埼玉県吉川市三輪野江1009-1
☎048(982)0483　FAX048(982)0498
工　場　宮城県伊具郡丸森町舘矢間木沼字入谷地68
☎0224(72)1753　FAX0224(72)6849
http://www.maruichirubber.co.jp
N.I.T.
株式会社 マルニット
営業事務所　埼玉県吉川市大字三輪野江1009-1
TEL048(983)3310　FAX048(982)0498
NITマルニット　埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1
共同研究センター 日本工業大学内
㈱丸一ゴム製作所・日本工業大学 産学交流 コーディネイト・マッチング